

# ゆりかご

Vol.19  
2023年12月号

通信

ありがとう!  
20周年  
こども病院

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4丁目3-17 宮城県立こども病院 ボランティアゆりかご 広報委員会

## ボランティア 20周年祭 & 芸術祭 大盛況



### 沢山の愛情に感謝

ボランティア祭実行委員長  
山崎美幸

20周年ボランティア祭が、

「優しい気持ちで広がる『支え愛のバトン』  
20年のおもいをここに」をスローガンのもと、  
11月8日～10日開催されました。

バザーには約660点もの手作りが寄せられました。  
ラベンダー製品、職員さんの可愛いキャンディレイや、  
マクドナルドハウスの品、合計11万3,200円となりました。

記念講演の、とよたかずひこ氏にちなんだキャラクターももんちゃんの飾り(写真右)は  
とても愛らしくて、私たちをとて元気にしてくれました。

またお茶会や、力作ぞろいの展示作品。記念講演会では  
子どもにかえて楽しむことができました。今回こども病院への、  
皆さんの沢山の愛情を知ることができました。ご協力大変ありがとうございました。  
関連記事3面



### とよたかずひこ先生の

記念講演、交流会に参加して 河鱈 洋子

「大きく大きく大きくな～れ」ボランティア全員で魔法のこぼれかけをかけると、黒い布から現れたのは大型紙芝居の舞台でした。拍手と歓声がホール中に鳴り響いた瞬間、一気にとよたかずひこワールドへ。紙芝居や絵本実演に浸ること1時間。その後、先生を囲んでの交流会。絵本の制作秘話や子どもたちとの交流、読み聞かせ現場のお話しなど盛りだくさんで、絵本作家

### 支え愛のバトン

つなぐ



ボランティアコーディネーター 大町 千鶴

長いながいコロナ氷河期が終わり、2023年5月やっと、ほとんどのボランティア活動が復帰できました。こども病院に日常が戻ってきたと感じました。

しかし息つく暇もなく新規ボランティアの募集と、こども病院開院20周年を記念してのボランティア20周年祭。そして4年ぶり2回目開催となる、芸術祭の準備が待っていました。

「優しい気持ちで広がる『支え愛のバトン』～20年のおもいをここに～」のスローガンを掲げ、初日は宮城出身の絵本作家、とよたかずひこ先生をお招きして、絵本の読み聞かせや交流会を開催しました。とよた先生の高校時代の大先輩、大井龍司初代院長も参加されて、会場に花を添えてくださいました。

翌日のバザーやお茶会もとてもいい雰囲気でした。短い準備期間にもかかわらず、ボランティアさんの結束力により、成功裡に終えることができました。

3年間ボランティア募集が出来ず、毎年減少していたゆりかご会員数も、11月末現在で30名の新規登録者を加え188名となりました。

これからも益々力を合わせて、子ども達の為に活動していただけますよう心よりお願い申し上げます。

の意外な日常も知る事ができました。

長く読みつがれる絵本を子どもたちに、とお話される先生。日本絵本賞受賞作「ももんちゃん」シリーズ(2001年)や、「でんしゃがくるよ」等、もうすでに乳幼児のバイブルですよ!

先生の講演は2度目でした。今後の活動の場で、更に生かされたらいいなあと思っています。



▲交流会でボランティアの質問に耳を傾けるとよたかずひこ氏(写真上)、記念講演で紙芝居を披露するとよた氏(写真左、右)

# 活動のあゆみ



▼ 歴代のボランティアコーディネーター (以下 VC)

年	月	できごと
2003 (H15年)	11	ボランティア開始式
	11	大井龍司院長就任
	11	寛浩子 VC
	11	(病院オープン88床)
2004	10	ニュースレター第1号発行
	10	職員との意見交換会
2005	1	活動1周年記念ボランティア祭
	4	(病院フルオープン160床)
2006	4	ボランティア「ゆりかご」名称決定
	11	活動3周年記念ボランティア祭
2007	6	院長との意見交換会
2008	2	活動部門の意見交換会
	4	林 富院長就任
2009	11	活動5周年記念ボランティア祭
	7	(アジア象「ランディちゃん」来院)
2010	4	星しげ子 VC
	9	職員との意見交換会
	9	ボランティア同士の交流会
2011	3	(東日本大震災 臨時託児施設運営)
	10	職員との意見交換会
	12	広報「ゆりかご通信」第1号発行
2013	1	職員との意見交換会
2013	4	太田久子 VC
	12	活動10周年記念ボランティア祭
2014	3	「10周年記念誌ゆりかご」発行
	3	職員との意見交換会
2015	2	職員との意見交換会
	3	拓桃医療療育センター統合
2016	7	ゆりかご通信第10号発行
	2	職員との意見交換会
2017	4	今泉益栄院長就任
	4	佐藤直子 VC
2018	2	職員との意見交換会
	11	活動15周年記念ボランティア祭
2020	1	(国内初の新型コロナ感染者)
	3	ボランティア活動全面中止
		以後、緑や車椅子、案内、図書等の部分的再開、及び全部門再開なるも感染拡大で中止を繰り返す。2020年7月、22年1月、8月に全面活動中止。
2021	5	(ボランティア通信発行)
	4	大町千鶴 VC
2022	4	呉 繁夫院長就任
2023 (R5年)	4	病棟以外のボランティア活動再開
	11	(介助犬キース君、りんごちゃん 来院)
	11	活動20周年記念ボランティア祭



寛 浩子 VC



星しげ子 VC



太田久子 VC



佐藤直子 VC



大町千鶴 VC

# 中間振り返り



活動をアップデート

## 案内

10月30日  
3名参加



2014年9月作成の案内マニュアルを、項目ごとに精査し内容を更新。

2022年7月版の、総合案内および入退院センター作業手順書については、コロナ5類移行後への変更検討を担当部所への要望とした。

## プレイルーム

11月1日  
2名参加



マニュアルの確認、変更箇所なし。要望事項は、きょうだい児の利用増で不足気味になってきた玩具やぬり絵、お絵描き帳等の補充。劣化傾向の CD が更新され、聴きやすくなりました。

## 図書

11月1日  
7名参加



各曜日の方々と、図書室マニュアルを見ながら、本の貸し出しや修理の仕方を、改めて共通認識する機会になりました。

# ゆりかご会員登録者 188名

令和5年度継続	青沼孝子 浅野典子 浅野由美 安達映美 芦立ひろ子 阿部なを子 阿部雅恵 阿部陽子 五十嵐俊江 五十嵐正江 石井明美 ●石田和子 石橋恵子 伊藤かほる 伊藤真弓 岩崎裕子 氏家敬子 牛渡知子 宇鉄洋子 遠藤千草 遠藤時子 大垣志のぶ ●大沢美貴子 大瀧ツネ子 大沼佳子 大原美香 大堀英子 大森輝文 大山直子 岡崎純 尾形研 岡田美佐恵 小川直美 小田仁 小野田寿子 小野寺順子 ●笠松富美子 片桐香織 片桐とし子 門脇幸子 金内祐子 鎌田なほ 加屋本加世子 川上千尋 河鱈洋子 菅野みゆき 菊地幸子 熊谷伸子 倉林恵子 後藤洋子 小林直子 小室喜良 今野慶子 昆野久恵 齋藤薫 齋藤浩三 齋藤紀子 櫻井光雄 佐々木 英子 佐竹淑子 佐藤江美子 ●佐藤香 佐藤かほる 佐藤啓子 佐藤寿一 佐藤泰子 ●佐藤敏子 佐藤知子 佐藤尚美 佐藤房子 佐藤真智子 佐藤美津子 佐藤洋子 佐橋康子 鹿野香織 四戸長子 渋谷博之 庄子克彦 正路節子 白鳥淳子 菅原哲郎 菅原初美 菅原実子子 菅原庸子 鈴木章子 鈴木いく子 鈴木栄子 鈴木喜久美 鈴木さつき 鈴木登 鈴木満子 鈴木裕子 瀬戸真由美 高砂真理映 高杉久美子 ●高瀬和子 ●高田登志子 高橋喜代子 高橋賢司 高橋智恵子 高橋ひろ子 高橋ひろみ ●田川順子 竹内久子 竹澤敏子 ●武山郁子 田中悦子 田中道夫 田中美代子 谷口明美 丹野通 土田直美 徳永美矢子 戸田真理 富田優子 永井花香里 永井靖子 長岡由美子 ●永澤さかえ 中嶋隆 ●中田恵子 中辻晶子 長縄路子 奈須野喜恵子 奈良美智子 西尾裕子 ●長谷川啓子 羽根みちる 馬場洋子 針生鐵太郎 半澤 美恵子 人見俊二 平井美恵子 福川裕子 藤澤達郎 本間映子 本間裕子 前田純子 松田キヌ 松田美喜子 松森昭子 間山麻理 丸山康子 三島範子 ●満江登志子 三塚好子 宮本祐子 武藤洋子 ●森恵美子 森まり子 矢寄真理子 柳越 山崎美幸 山田初美 山本美佳子 横山静子 吉川洋一 吉武マリ子 以上継続登録158名 ※●印は20年継続者
	新規

2023年  
11月30日  
現在



拓桃の子ども達、職員の作品



## こども病院芸術祭の復活に寄せて

成育支援局次長 木村 慶



コロナ禍で開催を断念していた芸術祭を4年ぶりに11月8日～11月10日に開催致しました。今年はボランティア20周年祭も同時に開催、賑やかな期間となりました。

入院中の子ども達、ご家族、職員、支援学校、ボランティアの皆さんから多くの作品を出展していただき、愛子ホールは見事な芸術作品で埋め尽くされました。3日間で262名の方に鑑賞いただきました。

ボランティアの方の作品はどれも力作ばかりで、鑑賞する方から感嘆の声が漏れるほどの反響でした。なかには、子どもが手に取って触って遊ぶ作品もあり、好奇心旺盛な子ども達が楽しく遊ぶ姿に、ほっこりして、自然と笑顔になりました。

アンケートの内容も、とても好評でした。外来通院や入院で大変な中で、少しでも癒しの時間となったのではないのでしょうか。運営は、ボランティアの皆様にご協力いただき感謝申し上げます。そして次の芸術祭でも、素敵な作品を期待しています。

と一緒にこども病院を盛り上げていきましょう。

## 善意のバトン つないで20年

## 賑わい うっとり 華やぐ 祭典



### バザー

中辻 晶子

11月9日、20周年記念ボランティア祭バザーが開催されました。ボランティアさん、職員の方々の手作り品、マクドナルドハウスからの提供品等を販売し、当日は大勢の方々にご来場いただき、目標としていた10万円を超える売り上げになりました。

手作り品を作るための素材を提供してくださった方、作品を手作りしてくださった方、当日お手伝いをいただいた方、そしてお買い上げくださった多くの皆さまに心より感謝申し上げます。

### 作品展示

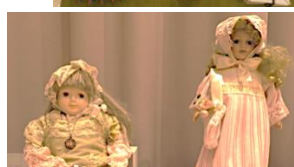
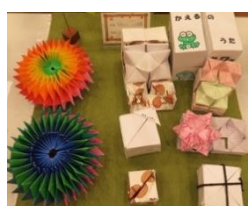
丸山 康子

「こども病院芸術祭2023」ご覧になりましたか？どの作品も、見るたびに気づきがあり、味わい深いものばかりでした。子ども達の作品からは、パワーと発見を。ご家族・職員の作品からは、ユーモアと愛情。ボランティアの作品からは、優しさと温かみを感じました。

コロナ禍を乗り越え、こうしてまた集うことができる喜び！！出品してくださった方、ご来場いただいた方、携わってくださった皆さま、本当にありがとうございました。



ボランティアの作品



### お茶会

高瀬 和子

11月8日の準備・9日のお茶会とも好天に恵まれ、様々な花器に季節の花々が生けられた会場には、約100名の方に来ていただく事ができました。準備・お茶会・片づけはボランティア仲間ということもあり、和気あいあい、チームワーク良く出来たのではないかと思います。

「継続は力なり」という言葉がある様に「技」を持っている人が多いことにも気付かされました。これからもボランティアが続くことを願っています。





感謝の気持ちを・・・

図書 今野 和泉

10 月よりボランティア登録致しました。きっかけは夫が重い癌を患ったことです。

病気とは全く無縁で、病名を告げられた時の落ち込み様は大変なものでした。その時、私達に寄り添い支えてくださったのが、先生をはじめとする各部門のスタッフの方がたでした。

当時の感謝の気持ちを胸に、今出来ることを精一杯、皆様とご一緒に活動出来ればと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



今をいきる！

案内 櫻井 公子

活動の仲間に入り、先日 4 回目のお手伝いをさせていただきました。まだまだ自分の活動の内容を覚えるので精一杯の状態です。

少しずつ、子どもたちやご家族に安心と温かさを、丁寧に伝えられるよう笑顔で接して行きたいです。

今回のボランティアが新たなチャレンジ、そしてゆりかごの仲間との出会いが、有意義な時間になりますよう、楽しく取り組んでいきます。よろしくお願い致します。



安全第一で一緒に

プレイルーム 高橋 葵

私は、9月からボランティア活動に参加しています。現在は学生ですが、将来子どもと関わる仕事に就きたいと考えています。

外来プレイルームで活動することが、将来に役立つのではないかと思い、この活動を始めました。

診察待ちの子どもと、きょうだい児が、安心して時間を過ごせるように、安全第一で取り組みます。一緒に楽しく遊んだり、見守ったりしていきたいと考えています。

介助犬 おみごと

たくとう広場 大歓声



▲冷蔵庫から取り出した飲み物を差し出すリンゴちゃん



リンゴちゃん(左)と、キースくん(下)

リンゴちゃんメス4才と、キースくんオス5才の介助犬2頭が、11月2日にこども病院たくとう広場にやって来ました。

日本介助犬協会の高柳友子理事長が、会場の子どもたちに「障がいのある人の生活を助けてくれます」と役目を説明。その後リンゴちゃんが、冷蔵庫から飲み物を取り出し、床に落とした硬貨を拾いあげてみせます。またスマホを探し出し、要介助者に届ける場面を実演。大きな拍手と歓声があがった。

演技のあと、子どもたちはワンちゃんと対面、背中をやさしく撫でたり一緒に記念写真を撮ったり、笑顔でふれあいました。

とどけ！芋パワー 豊作願い前日祭

子どもたちが待ちにまった収穫祭の前日の事です。幼児たちが畑に集まり、歌って踊ってお芋さんにパワーを送っていました。



大きな歌ごえは、晴れた秋の日の空にひびき渡りました。居合わせたボランティア数名も、作業の手を休め、一緒に手拍子を打ち、お芋パワーを応援しました。大きなお芋獲れたかなあ～。



Xmas

2023

イルミネーション



12月5日、プレイガーデンで点灯式がありました。声優の山寺宏一さん（アンパンマンのジャムおじさん等）から、あたたかいビデオメッセージが届き、式に花を添えました。

行事予定

- 2023年 12月 職員との懇談会（中止）
- 2024年 1月 新規登録ボランティア研修会
- 20年継続感謝状贈呈式
- 呉 繁夫病院長 講演会



編集後記

20周年祭当日に、来場できなかったボランティアの方々へ、紙面を通して賑わいや熱気を感じていただけたらうれしいです。櫻井・佐々木・西尾・前田

